

健全な財政運営のための 事業見直し案

～評価に基づく見直しと自立に向けた選択～

飯山市の財政状況は、地方を取り巻く社会経済情勢の下、市税の落ち込みや国の地方交付税改革等の三位一体改革の影響を受け、依然として厳しい状態が続いています。市では毎年、実施した事業の成果はどうであったかを振り返り、その事業の位置付けや費用対効果等を検証する事務事業評価を実施しています。平成

18年度の予算編成にあたって、その評価結果を基に事業の優先度等の見直しを行いました。また、平成18年度は飯山市自立計画の初年度であり、市の自立に向けて事業の重点化、集中化を図る中で、市の活力を培うための新規事業も構築し、平成18年度の予算案として市議会に提案しています。その一部を紹介します。

○主な新規事業と見直し事業（案）

（単位 万円）

所管	区分	事業名	事務事業評価		予算計上額		内容
			総額	一般財源	総額	一般財源	
庶務課	新規	自主防災会育成強化事業	91	91	90	90	各地区の自主防災会の組織化推進と育成強化支援
企画財政課	見直し	廃止路線代替バス運行事業	3460	3460	3510	3510	新公共交通システムに移行
		みゆき野ラインバス運行事業	165	165	202	202	
		コミュニティーバス事業	2200	1745	2261	1806	
企画財政課	新規	新エネルギー導入促進補助事業	280	280	250	250	太陽光発電システムを新設する住宅等への設置補助
	新規	子育て応援事業			4815	15	子育て応援として「子育ておうえん券」の発行、配布
旅産業室	新規	先導的旅産業創出支援事業	1000	1000	1100	965	地域資源を活かした新規分野における先導的旅産業創出事業の支援、他
	新規	都市と農村の共生・対流社会実験事業			500	0	都市と農村が取り組む新たな試み（社会実験）に参加
	廃止	映画の街「いいやま」情報発信事業	0	0	0	0	事業期間終了
保健福祉課	減額	高齢者生きがい対策事業（老人福祉センター運営補助金）	1000	1000	970	970	約20%削減
	廃止	家族介護者支援事業	0	0	0	0	家族介護者リフレッシュ事業（宿泊、日帰りの交流会）の廃止。家族介護者教室は介護保険特別会計で対応
	新規	総合福祉センター移転整備事業	9億5961	9861	3億1117	77	新幹線駅周辺整備に伴う総合福祉センターの移転整備
農林課	廃止	園芸産地環境保全型農業推進事業	0	0	0	0	平成17年度フェロモン利用組合解散により廃止
	見直し	農業振興対策事業（農業用廃プラスチック類適正処理事業）	32	32	30	30	平成18年度で終了。以降、受益者（生産者）と販売者（JA）で調整
	新規	アスパラガス産地再生事業			430	430	新たな圃場でのアスパラの栽植
商工観光課	減額	工場用地等取得費補助事業	3573	3573	3170	3170	約10%削減
	新規	飯山経済塾補助事業			100	100	新分野にも対応できる経済人育成事業補助、他
道路河川課	新規	ふるさと回帰者に対する定住促進支援			380	380	ふるさと回帰者に対する定住促進支援
	新規	地域防災対策整備事業	2200	10	2200	2200	内水対策、災害応急対策、河川整備等の台風、豪雨、豪雪等に備えての防災対策
都市計画課	見直し	寺町サミット参加事業	285	285	181	131	平成18年度で終了
	新規	若者定住回帰支援住宅促進事業	421	421	592	592	民間活力による戸建て住宅、集合住宅の建設への補助
	新規	住宅耐震対策事業	765	311	765	311	木造住宅の耐震診断、耐震補強を行う者への補助
子ども課	見直し	外国籍生徒補助員設置事業	85	85	85	85	対象生徒の卒業とともに一旦終了
	新規	学校防災設備改修事業	500	500	480	480	小中学校の防災設備（自動火災報知設備、防火扉、非難器具）の不備を改修
	新規	学校緊急連絡システム整備事業			90	90	子どもの安全確保のため学校と保護者間でのメール発信システムの導入

（千円以下四捨五入）

在宅福祉サービス 利用申請手続きを

市では現在、各種在宅福祉サービスを実施しています。それぞれのサービスは市が交付した利用券により利用していただいておりますが、利用できるのは年度末の3月いっぱいまでです。引き続きサービスの利用を希望される方は、4月に入ってから申請の手続きが必要です。介護保険被保険者証と印かんをご持参ください。

問い合わせ先
市役所保健福祉課高齢者福祉係 ☎62-3111内線182
※タクシー乗車券は社会福祉係 ☎62-3111内線189
で受け付けます。

サービス名	内容	対象者・税区分
訪問理・美容サービス券	自宅に理・美容師さんに来てもらう出張料分。1000円の利用券を年4枚以内	65歳以上で要介護3・4・5の理容院・美容院に出向くことが困難な高齢者のみの世帯、またはこれに準ずる世帯
寝具クリーニングサービス券	掛け・敷き布団をクリーニングに出す際に使える2000円の利用券を4枚以内	65歳以上で要介護3・4・5の寝具の衛生管理等が困難な高齢者のみの世帯、またはこれに準ずる世帯
タクシー乗車券	通院等にタクシーを利用する場合の乗車券。500円券を毎月4枚以内	①身体障害者手帳の障害が、視覚、下肢、体幹、心臓、じん臓、呼吸器にあり、障害の程度が1級、2級の方 ②療育手帳の障害の程度がA1、A2の方 ③精神障害者保健福祉手帳の障害等級が1級の方 ④精神障害で障害年金1級を受給している方 ⑤介護保険の要介護3・4・5の方
6200円の紙おむつ等購入券	紙おむつ利用者のいる家族に紙おむつ等購入利用券を交付します。ただし、同居家族全員の課税状況により交付できない場合があります。	65歳以上で要介護4・5の方の属する世帯 市民税非課税世帯
3600円の紙おむつ等購入券		65歳以上で要介護2・3の方の属する世帯 市民税非課税世帯

森林セラピー事業の本格始動に向けて 「モデルの宿」近日募集開始します



△森林療法では、ストレスを溜めた都市部住民が癒しの対象。ゆっくりくつろげる宿の提供は、大変重要な意味を持つ。

豊かな郷土の森林を歩くことを通じ、都市住民の癒しや健康増進につなげ、長期滞在による心と身体の健康づくりの場を提供しようとする森林セラピー構想。平成17年度を通して、市では森林セラピー基地としての認定を目指して取り組みを進めてきましたが、4月中にも認定結果が出される見通しとなっています。

そこで、森林セラピー基地として認定された場合、療法の拠点としての役割を果たすことになる地元の宿泊施設と連携するため、市

この趣旨に賛同し、「癒しの宿」として経営してみたいと考える宿泊業の方は、ぜひ市役所旅産業室（☎62-3111内線341）までご相談ください。

では、「森林セラピーモデルの宿」癒しの宿」を各観光協会を通じて、募集することにしています。

森林セラピー事業において市が考えている構想とは、「健康への旅」を柱とした健康産業の育成であり、今後、健康に関連した旅行商品を開発していくことにある。